

# 本年度上半期 市の財政状況を公表 予算の3割が支出済み

市民の皆さんにより一層、市政への理解と関心を深めていただくため、市では財政状況の公表に関する条例の規定に基づき、定期的に財政状況を公表しています。今回は、本年4月1日から9月30日までの半年間の予算の執行と地方債、基金の状況をお知らせします。

□問い合わせ 財務課（内線436）

## 20億8千万円を増額補正

表1のとおり一般会計は13億4482万円（繰越予算の1億4590万円含む）、特別会計は6億9702万円、企業会計は4000万円の増額補正を行いました。

総額では、一般会計が29億9482万円、特別会計が163億8492万円、企業会計が137億4340万円になりました。

主な内訳は、一般会計では6月に大正村浪漫亭リニューアル、市立恵那病院の産婦人科開設、地籍調査事業、（仮称）中野方ふるさと資料館整備、コミュニティ・スクール導入、6次産業学習などの費用

に1億711万円、9月に山岡町の地すべり災害復旧事業費、恵那峡再整備事業費、レソナルオフィス事業費、山岡駅かんてんかんの寒天ジュース充填機購入費、飯地町での有償運送事業費、健康ポイント制度の費用、公共施設整備基金とリニアまちづくり基金への積立金などに10億9181万円を計上しました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計や介護保険特別会計で前年度精算による返還金、簡易水道事業特別会計で消費税及び地方消費税などの増額補正を行いました。

企業会計では、病院事業会計で産婦人科開設のための増額補正を行いました。

表1 補正予算の状況（9月30日現在）

内訳	当初予算額	補正額	合計
一般会計	280億5,000万円	13億4,482万円	293億9,482万円
特別会計	156億8,790万円	6億9,702万円	163億8,492万円
企業会計	137億0,340万円	4,000万円	137億4,340万円
合計	574億4,130万円	20億8,184万円	595億2,314万円

※補正額には昨年度からの繰越予算を含む。企業会計の予算額は支出予算

## 市税の収入率は61%

一般会計の収入の状況を表2に、支出の状況を表3にまとめました。

収入については、市税収入が予算額に対して61・2割納入されています。

株式等譲渡所得割交付金や自動車取得税交付金、市債は、年度末に納入される予定で、国庫支出金や県支出金は、事業の完了後に納入される予定のため、収入率は低くなっています。

支出については、定期的に出る人件費や公債費（借金を返済するお金）は、支出率も順調ですが、衛生費、土木費、災害復旧費は、建設事業などを多く行っているため、事業を完了してからの支出が多くなるため、支出率は低くなっています。

民生費は、国民健康保険や介護保険事業などの繰出金が下半期に支払われることから、支出率が低くなっています。なお市全体の歳入と歳出の状況は、例年と同様になっています。

表2 一般会計収入の状況

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	69億1,910	42億3,782	61.2%
地方譲与税	2億8,480	7,905	27.8%
利子割交付金	960	268	27.9%
配当割交付金	4,390	662	15.1%
株式等譲渡所得割交付金	2,970	0	0.0%
地方消費税交付金	9億4,550	5億1,443	54.4%
ゴルフ場利用税交付金	1億1,630	5,233	45.0%
自動車取得税交付金	6,200	1,360	21.9%
地方特例交付金	2,490	2,534	101.8%
地方交付税	86億8,550	65億5,177	75.4%
交通安全対策特別交付金	590	296	50.1%
分担金及び負担金	3億3,236	1億0,284	30.9%
使用料及び手数料	3億9,619	1億6,700	42.2%
国庫支出金	22億5,811	6億5,601	29.1%
県支出金	21億2,842	2億9,956	14.1%
財産収入	1億1,505	3,618	31.4%
寄付金	2,208	208	9.4%
繰入金	14億4,636	0	0.0%
繰越金	14億9,890	14億9,891	100.0%
諸収入	7億7,655	2億9,589	38.1%
市債	32億9,360	450	0.1%
合計	293億9,482	145億4,955	49.5%

表3 一般会計支出の状況

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億0,142	1億0,437	51.8%
総務費	45億1,700	13億1,194	29.0%
民生費	76億9,474	26億9,054	35.0%
衛生費	51億7,839	5億0,852	9.8%
労働費	5,550	5,290	95.3%
農林水産業費	13億3,653	5億2,987	39.6%
商工費	11億0,421	4億2,531	38.5%
土木費	19億3,734	2億7,158	14.0%
消防費	9億7,080	4億5,704	47.1%
教育費	27億0,111	10億2,573	38.0%
公債費	34億9,720	17億1,295	49.0%
予備費	3,000	0	0.0%
災害復旧費	1億7,057	1,458	8.5%
合計	293億9,482	91億0,534	31.0%

## 一般会計5割を収入済み

一般会計は収入率49・5%、支出率31・0%で、特別会計合計は、収入率33・9%、支出率37・6%。企業会計は、収入率15・7%、支出率19・6%となっています。

一般会計の支出では、建設事業の工事費や委託料が、事業完了後に支出されるので、上半期の支出率は低くなっています。

特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業、公共下水道事業、簡易水道事業などの特定事業の会計です。収入では、国や県の補助金、市債が事業完了後の収入、一般会計の繰入金が年度末の収入のため、収入率は低くなっています。

企業会計には、水道事業病院事業、介護老人保健施設事業、診療所を運営する国民健康保険診療所事業、介護老人福祉施設事業の五つがあります。水道施設の建設事業費や病院の施設改修事業費、医療機器などの建設事業費などがあり、一般会計と同じように支出率は低くなっています。

## 市の借金は482億円

市債の状況を表4に、基金の状況を表5にまとめました。

本紙11月1日号で平成27年度末の市債の状況をお知らせしましたが、本年度上半期では21億873万円を返済し、9月30日現在の借入残高は、一般会計、特別会計、企業会計まで合わせて481億7964万円、市民1人当たりで93万360円となっています。

9月30日現在の基金は、財政調整基金の27億5687万円、地域振興基金の35億6069万円など、一般会計分に積み立てる基金で172億8080万円でした。

他に運用する基金として、公共事業用地の先行取得を行う土地開発基金や奨学資金を貸し付ける奨学資金貸与基金などがあり、土地代金や貸付金を含め、運用基金総額は13億1393万円でした。

一般会計と特別会計、企業会計まで含めた基金総額は、190億9903万円。市民1人当たり36万8807円となりました。

表4 市債の状況

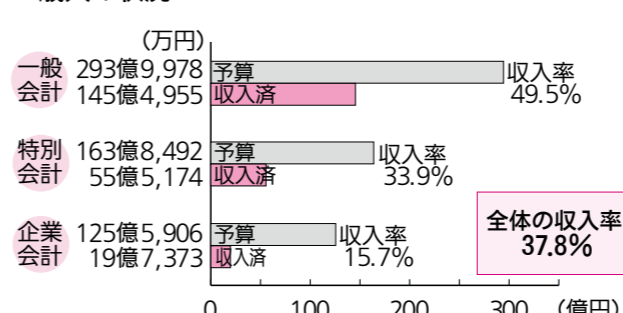
区分	現在高	市民1人当たり
一般会計	308億9,670万円	59万6,623円
特別会計	138億5,179万円	26万7,481円
企業会計	34億3,115万円	6万6,256円
市債総計	481億7,964万円	93万0,360円

表5 基金の状況

区分	現在高	市民1人当たり
積み立てる基金	172億8,080万円	33万3,696円
一般会計の基金	166億8,212万円	32万2,136円
特別会計の基金	5億9,868万円	1万1,561円
運用する基金	13億1,393万円	2万5,372円
企業会計の基金	5億0,430万円	9,738円
基金総計	190億9,903万円	36万8,807円

※人口は9月30日現在の51,786人を基準。端数処理のため金額が合わない場合があります

＜歳入の状況＞



＜歳出の状況＞

